

リニア体験乗車に参加 令和5年度リニア中央新幹線建設促進経済団体連合会

場所：山梨実験センター 参加者：15名

リニア中央新幹線は、東京・名古屋・大阪の三大都市圏を短時間で結ぶだけでなく、中間駅となる地方都市の活性化にも寄与する国家的プロジェクトです。また、東海道新幹線のバイパスとして大規模災害への備えの役割も担っています。沿線9都府県の経済団体において構成される「リニア中央新幹線建設促進経済団体連合会(会長：嶋尾名古屋商工会議所会頭)」は、早期開通に向けて各種活動に取り組んでいます。

その一環として4月14日(金)、リニアの理解を深め、意見交換を行う「リニア体験乗車」がJR東海により山梨実験センターにおいて開催され、1都6県の会頭・副会頭・専務理事らが参加しました。最初に、JR東海の金子会長より、「リニアはすでに技術的に完成しており、現在はコストダウンや技術のブラッシュアップのための技術開発を続けている。すぐにでも営業運転ができる段階にある」と挨拶があり、リニア開発に関わる幹部によるガイダンスが行われました。その後、“LO系改良型試験車”に乗車し、時速500km走行を体験しました。

今回の体験乗車を通して、参加者はリニアの早期実現に向けた活動を推進していく決意を新たにしました。



LO系改良型試験車



LO系改良型試験車の車内

